キャラクター名: 朴　瑞峻（パク・ユジュン）（□　□□）

プレイヤー名:

シンドローム	バロール ウロボロス	ワークス	UGN支部長B	カヴァー	弓道家
オプショナル		年齢	38？	性別	男
覚醒	感染	衝動	殺戮	初期侵食率	38 %
出自	政治権力	経験	古強者	邂逅	強羅　瑠璃

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	1	0			3
精神	4	0	0			4
社会	1	0	0			1

HP	26
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	16		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
必中の弓	射撃	3r+26		11		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

デモンズシード	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
【98】遺産継承者/レガシー	P	N		
師範	P　尊敬	N　憐憫		
”必中の弓”	P 連帯感	N　憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
巨人の斧	3	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	攻撃力＋Lv×3							
魔神の弩	3	5	メジャー	武器	単体	対決	リミット	
効果：	攻撃力＋10、Lv回/1S							
原初の赤：ペネトレイト	1	4	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	装甲無視							
原初の白：マシラのごとく	4	7	メジャー	-	-	対決	80%	
効果：	攻撃力＋Lv×10、1回/1S							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果：	判定強制失敗							
黒の咆哮	3	4	メジャー	-	-	対決	80%	
効果：	攻撃力+Lv×4							
ダークマター	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	判定＋LvD							
過剰濃縮	5	3	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果：	攻撃力＋Lv×4							
原初の黒：オーバードース	1	4	メジャー	視界	単体	自動	100%	
効果：	組み合わせエフェクト＋Lv2、Lv回/1S							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

UGN遺産管理局第13特殊部隊”Mabinogion（マビノギオン）”隊長を務めるUGNエージェント。韓国において1000年以上の歴史のある弓術の流派を受け継ぐ片箭の達人であり、死亡や転勤が相次ぐ遺産管理局においては珍しい、不動の部隊長を遺産管理局が設立された当初から務め続けているUGN屈指の実力者としてそれなりに名が知れている。一度”Mabinogion（マビノギオン）”に所属したならば、評判に違わず必中決殺をもたらす一撃を弓から放つ弓兵であり、遺産にまつわる任務の数々を難なくこなしてきた統率者である彼の姿を拝むことができるだろう。それと同時に、UGN所属以前の経歴はそのほとんどが不明で、これからの展望についてもその一切を語らない謎の多い人物でもある。”Mabinogion（マビノギオン）”に長年所属しているとある少年曰く、彼に力をもたらした”必中の弓”をなぜか憎んでいるらしいが、その理由も聞き出すことは能わなかった。

寡黙で理性的。ルーティンを大切にし、明鏡止水といった面持ちで常に一定の姿勢で弓に矢を番える。静寂と平穏を愛し、粛々とUGNからの任務をこなすといった印象が強い。しかしながら、ぶっきらぼうで社交性に乏しい訳ではなく、部隊員とは着かず離れずの関係を維持しながらも、人並みの関心を向け、必要とあらば隊員ひとりひとりに気を配る。どのような任務であっても冷静さを欠くことなく淡々と弓を引くその姿は部隊の精神的支柱として機能しており、”Mabinogion（マビノギオン）”における遺産関連の任務の達成率が高いのは彼の存在が大きいえるだろう。喜怒哀楽の表現が薄く、気分の波などもほぼ一定である彼だが、弓術の向上や衰えに関しては静かに一喜一憂しているようで、暇さえあれば非レネゲイドの片箭を手に取り、稽古に励んでいるようで、彼との付き合いが長くなれば稽古後の彼の様子から今日の調子がどうであったかが感じ取れるようになるらしい。しかし、弓と部隊以外の事柄についての関心はめっぽう薄く、隊員と食事すらともにとることが珍しい彼からは全くと言っていいほど生活感が感じられない。

そんな彼がなぜ彼自身が保有する”必中の弓”にだけは剥き出しの憎悪を向けることがあるのか。その理由は彼の過去にあるのだろう。これ以降の記述はUGNに保管されている記録の数々を継ぎ合わせたものである。

UGNが設立されて間もないころから彼と彼の師の活動は記録されており、両者とも非オーヴァードながら愛弓片手に対ワーディングマスクを装着して、ユーラシア大陸に蔓延るジャームたちを討伐していたらしい。その活躍ぶりは当時のUGNエージェントたちに匹敵しており、レネゲイドウイルスが与えてくれる肉体や五感の強化やリザレクトを初めとするエフェクトの数々に頼ることなく、純粋な弓術だけで敵を薙ぎ倒す彼らにUGNは一定の評価を下しており、彼らも純粋な腕前だけで化物たちを駆逐できることを誇らしく思っていたらしい。しかし、幸運は続かない。卓越した回避能力と優れた射撃エフェクトを持つエンジェルハィロゥ